

みんな
も
読むも



蜘蛛糸学習四 コマ漫画

出口魁己 221F038 京都精華
大学デザイン学部イラスト
コース

蜘蛛の糸の漫画その一



最初のコマでは蜘蛛糸が頼りないという一般の偏見を一コマ目で描きますがそこで蜘蛛の化身クモモを登場させレクチャーさせる流れにします。ただ漫画としての面白さにも配慮して四コマ目では蜘蛛の糸が隕石衝突から世界を救うという嘘を描いたとともに読者に実際は何ができるのかの興味を持たせるようにしています。



この漫画の2コマ目では実際に蜘蛛の糸を使って作られた服の製品「ムーン・パーカ」を紹介している他登場人物に言わせることで服を着てみたいという興味を惹かせます。ただし蜘蛛の糸そのものではないということの証明やギャグとしてのオチとして蜘蛛の糸で服を作ろうとしても加工しないとただの糸ということを表現しています。

蜘蛛の糸の漫画その二



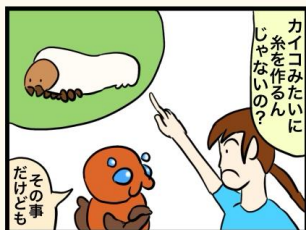
蜘蛛の糸が服の素材になると言われてもピンとこない人もいるはずなので蜘蛛の糸のうちどこが使われているのか、なぜ蜘蛛がそのような性質のものを作るのかといったことをここでは描いていますが横糸はどうするのかといった興味を引く為にもオチで横糸で出来た服を妄想させている他横糸の使用方法にも興味を持ってもらうよう仕向けてます。



蜘蛛の糸のイメージといえば貧弱ですがここでは鉄と比較することで蜘蛛の糸が丈夫だということを強調して素材として使えるということを認識してもらうようにしています。しかし人工蜘蛛の糸は実際は蜘蛛の糸そのものではないのでオチでクモモがガッカリしているというものも描きました。何せ彼は蜘蛛の化身なのですから。

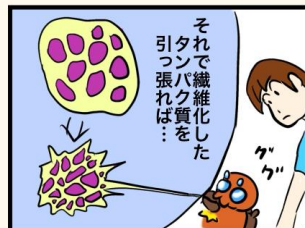
蜘蛛の糸の漫画その三

蜘蛛糸の製造者



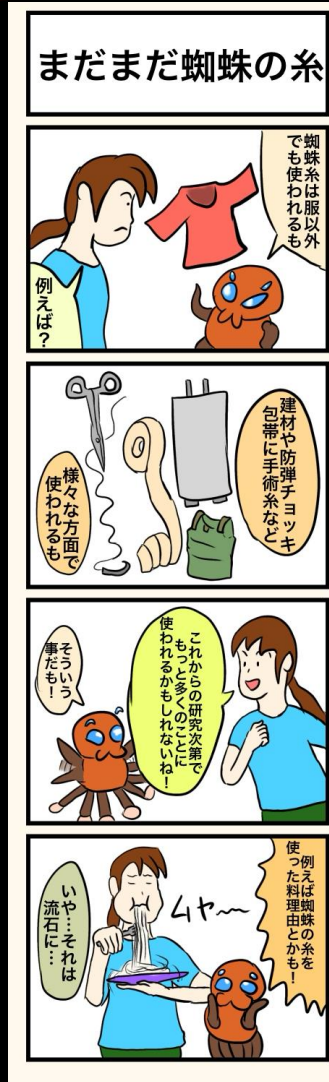
一定の知識を持つ人は糸を作る生物といえばカイコを思い浮かべるだろうと考えたのでそれらの層にも初めて知る方々にも向けた説明をしたほかなぜ蜘蛛の糸こそそのものではないのかということの説明をしています。そして誰が作っているのかのいうことを描き意外性を持たせています。また作品の雰囲気に合わせて細菌も擬人化しています。

蜘蛛糸の作り方

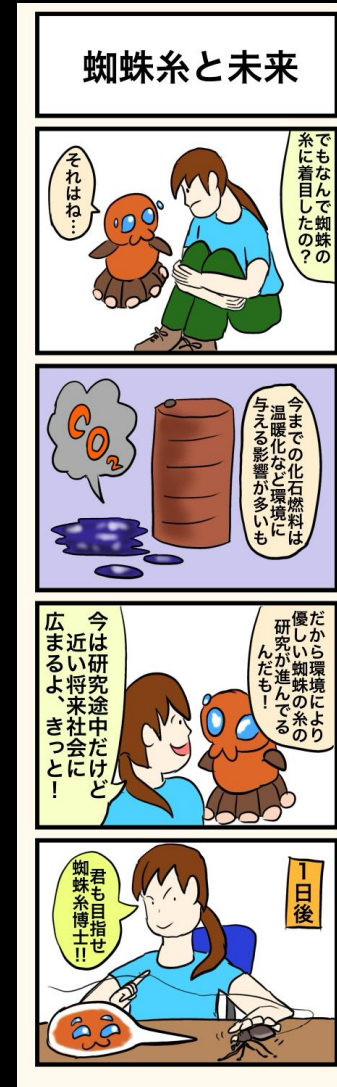


沼田先生が蜘蛛の糸がどうやって作られるのかを解説した論文から着想を得たもので書かれていた難しいワードを私なりに解釈して図でわかりやすく解説するとともに仕組みと漫画表現を上手いこと融合させ絵面の面白さを作っています。また遺伝子を組み込むことで細菌は蜘蛛糸を作りますが人間ではどうなるのか?というギャグをオチに持ってきています。

蜘蛛の糸の漫画その四



前述した服以外の物では建材や防弾チョッキ、手術用品などといったものがあるということをここでは解説していますがここでは図を見せる他じキャラクターに可能性を提示させるということもしています。一方で最後にギャグオチとして蜘蛛糸の食用化を示唆させておりこれ自体はギャグでもいつかは実現するかもという風に描いています。



最後は石油などがある社会でわざわざ蜘蛛の糸を新資源として利用する理由を描いているほか石油による悪影響も少し描いています。とはいえ蜘蛛の糸は主流ではないし石油を悪役にしたくなかったのでこの表現となりました。最後は登場人物とともに蜘蛛糸博士を目指すという形で終わっておりここまで読んで蜘蛛糸に興味湧いたということを前提に描いています。